

第 1521 回 11 月第一例会



令和 5 年 11 月 14 日
(火) 金沢ニューグランドホテルにて、第 1521 回通常例会が開催されました。

細川会長の挨拶では、本日、11 月 14 日は「いとし」の語呂合わせから「アンチエイジングの日」です。「老い」に関する詩の中で、張九齡の「宿昔青雲志 蹉跎白髮年」という漢詩があります。若い時に青雲の志を立てたものの、つまずいて、今や白髪の年になってしまったことを嘆いている詩です。張九齡は、盛唐期の官僚政治家で、貧しい家の生まれながらも立身出世して玄宗皇帝の宰相まで勤めましたが、皇帝に諫言したことを貴族官僚に讒言され左遷されてしまった人物です。玄宗はあとになって、「張九齡の言うことを聞いておけばよかった」と悔やんだそうです。「青雲」を使う言葉で、「青雲の士」があります。徳と学を積んだ人という意味で、そういう人達の交わりを「青雲の交わり」といいます。まさに、ライオンズマンが「青雲の士」でライオンズクラブが「青雲の交わり」であってほしいと述べられました。

各種報告 PR 事項では、LCIF 委員長で姉妹提携委員長の松尾靖 L.から LCIF 献金のお願いと大垣 LC 合同フットサル事業について、青少年育成副委員長の草野哲也 L.から金沢東 LC 杯フットサル大会が大盛況の中閉幕したこと、社会奉仕委員長の東龍盛 L.から「ほほえみスポーツフェスタ」への協力要請について、地域環境委員長の嶋崎隆之 L.から卯辰山清掃活動と青少年写生コンクール表彰式について、会員交流委員長の横田恭一 L.から年忘れ家族同伴例会について、最後に、幹事の多田浩人 L.から赤い羽根募金についての報告がありました。



各種報告 PR 事項では、LCIF 委員長で姉妹提携委員長の松尾靖 L.から LCIF 献金のお願いと大垣 LC 合同フットサル事業について、青少年育成副委員長の草野哲也 L.から金沢東 LC 杯フットサル大会が大盛況の中閉幕したこと、社会奉仕委員長の東龍盛 L.から「ほほえみスポーツフェスタ」への協力要請について、地域環境委員長の嶋崎隆之 L.から卯辰山清掃活動と青少年写生コンクール表彰式について、会員交流委員長の横田恭一 L.から年忘れ家族同伴例会について、最後に、幹事の多田浩人 L.から赤い羽根募金についての報告がありました。

続いて、新入会員入会式が行われました。新入会員は、名鉄観光サービス(株)北陸支店長の矢野玲様です。会場の会員全員のスタンディング・オベーションの中、矢野玲 L.は迎えられました。



続いて、新入会員入会式が行われました。新入会員は、名鉄観光サービス(株)北陸支店長の矢野玲様です。会場の会員全員のスタンディング・オベーションの中、矢野玲 L.は迎えられました。

スタンディング・オベーションの中、矢野玲 L.は迎えられました。



11 月お誕生日並びに結婚記念日を迎えられた方々のご紹介では、細川会長から花束が贈られ、記念撮影が行われました。

本日のメンバースピーチは、ミスターアラートの堀岡昭夫 L.から「アラートについて」です。「アラート」について考える時、平時と緊急時では考え方は真逆である。また、災害は行政に任せればいいとの意見もあります。しかし、行政は堤防や道路などの復旧についてはできますが、個人の家を個別に復旧することはしないのです。復興とは、被災された方が一日でも早く元の生活に戻れるようにすることであるならば、それを「お手伝い」することがボランティアでありアラート活動です。また、「アラート」は、いつ発生するかわかりません。なので、平時から心の準備、備蓄品の準備などの「準備」が大切ですと、スピーチしていただきました。



最後にテールツイスターの永野琢也 L.が登場し、ドネーションの発表をして第 1521 回通常例会は終了しました。(記事:中村吉興計画委員長)

最後にテールツイスターの永野琢也 L.が登場し、ドネーションの発表をして第 1521 回通常例会は終了しました。(記事:中村吉興計画委員長)

第 4 回「金沢東ライオンズクラブカップ (U-10 フットサル大会)」

令和 5 年 11 月 11 日(土)～12 日(日)の二日間にわたってフットサル大会が開催されました。今回で 4 回目となる大会では、全 16 チームが参加し熱戦が繰り広げられました。



今回で 4 回目となる大会では、全 16 チームが参加し熱戦が繰り広げられました。

当クラブメンバーから最大 16 名の参加で子供たちのレベルの高い試合を固唾を飲んで見守りました。結果は優勝「菊川オレンジ」準優勝「菊川ブルー」となり、11 月 25 日(土)に行われる大垣との交流戦の切符を手に入れました。

父兄の方や指導者様からも「とてもいい大会になりました。ぜひ来年も開催してほしい」との大きな反響を頂き、無事盛大に開催する事ができました。(記事:中村隆美)